

## 疫学（臨床）研究実施についてのお知らせ

大阪市立大学大学院医学研究科  
循環器内科学

### 【研究科題名】

収縮不全に対する経胸壁心エコー図検査を用いたトルバプタン反応性予測に関する臨床研究

### 【研究期間】

倫理委員会承認後 ～ 2018年3月31日（西暦）

### 【研究の意義、目的】

水利尿薬であるトルバプタン（バソプレシン V2 受容体拮抗薬）は、新しい機序を有した心不全治療薬として、2010 年から本邦で使用可能となっています。

トルバプタンの適応は、ループ利尿剤等、既存の利尿薬で効果が不十分な心不全症例であるが、トルバプタンの早期からの併用は、ループ利尿薬単剤による既存の心不全治療よりも早期に自覚症状の改善が得られること、ループ利尿薬による腎機能障害が予防可能なことが過去の報告で明らかとなっています。

しかしながら、収縮不全患者ではトルバプタン抵抗性症例が一定数認められ、反応性の予測因子の解明が切望されます。

非侵襲的検査である経胸壁心エコー図検査の各種パラメーターによりトルバプタン反応性の予測が可能になると、レスポonderへのトルバプタン早期導入につながり、早期の自覚症状改善、入院期間の短縮など、臨床および医療経済上、享受出来る効果は大きいと考えるため、今回収縮不全患者を対象に、トルバプタン投与前に施行した心エコー図検査結果を調査し、トルバプタン反応性と関連する心エコー図指標を明らかにすることを目的としました。

### 【研究の方法】

2011 年 1 月以降に入院となり、既存の利尿薬治療に抵抗性でトルバプタンが導入された収縮不全患者の患者背景（年齢、性別、基礎心疾患）・採血データ及び、トルバプタン導入前の経胸壁心エコー図検査の各種パラメーターをカルテより抽出します。

### 【医学倫理的配慮・拒否の機会】

本研究では人体試料を用いませんので、参加される方々に特別に同意は頂きません。しかし、既存のデータを取得し用いますので、本研究への参加を拒否することを希望される場合には、下記に連絡することによって拒否することが可能です。

**【研究組織】**

研究代表者 葭山 稔

**【本研究に関する問い合わせ先】**

研究責任者 葭山 稔

住所：大阪市阿倍野区旭町 1-4-5

電話番号：06-6645-3801、FAX 番号：06-6646-6808

E-mail：yoshiyama@med.osaka-cu.ac.jp